

風流印字

●発行(株)和歌山印刷所

■本社

〒640-8412 和歌山市狐島609-9

TEL.073-451-4111 FAX.073-452-2631

■東京営業所

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル3階

TEL.03-6658-8440 FAX.03-6658-8441

●発行年月日 2021年1月1日

新年あけましておめでとうございます。

こんにちは！和歌山印刷所、通称「わいん」です。

今年の干支は「丑」です。

2021年「モー」よろしくお願いいたします！

謹んで新春のお慶びを申し上げます。わいんニュースレター「風流印字」で新年のご挨拶をするのも3回目になりました。

2020年の前半を思い返してみますと、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が出されていました。東京オリンピック・パラリンピックが延期になり、仕事・プライベートを問わず環境の変化を余儀なくされ、それらは未だに続いています。

「風流印字」でも社員の日常を切り取った特集号を出しました。心温まる話や、ハッとさせられる話があり、ひとりの読者としてつい楽しんでしまいました。



潮岬周辺の初日の出

2020年後半には、レジ袋の有料化も全国的に始まりました。SDGsの意識向上と、それに伴うプラスチック製品の削減が頻繁に取り沙汰されていました。今や、どこで買い物をするにしても、マイバッグ持参が当たり前になっています。

販促EXPOへの出展もありました。新たに導入したオンデマンド印刷機「Versant 3100 Press」を使った、1冊からの名入れ伝票サービス「FROM WYN」を中心にご案内しました。来場して下さった方々から多くのご注文をいただき、大変感謝しております。また、多数の取材も受け、サービス内容の特集を掲載していただきました。

振り返ってみると、何がうまくいって何がうまくいかないのか、正解を求めて走り続けた1年でした。時代の節目に在ることを痛感する日々です。こうして新年を迎えられたのは皆様のおかげに他なりません。何よりも皆様のご健康とご多幸をお祈りしております。2021年も全力で取り組んでまいりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社和歌山印刷所
代表取締役社長 小島 治

総務3人娘がお届けする

わいわい インタビュー



私たち総務3人娘が、
社員の経験談を
毎月レポートします。
今月のゲストは、営業部商品
管理課の窪田裕充さんです！

■仕事で得た達成感は何ですか？

配送の仕事をさせてもらっています。仕上がった印刷物をお届けした時に、お客様から「ありがとう」等、嬉しくなる言葉をかけていただいた時にやりがいを感じます。これからもより喜んでいただけるよう細かな気付きを大切に接客をしていければと思います。

■苦労したエピソードはありますか？

入社した当初は、道や建物に詳しくなく苦労しました。和歌山はもちろん、土地勘のない遠方へ行く時、先輩方に道を教わり紙の地図を片手に緊張しながら行きました。行く先で自分なりの目印を見つけしっかりメモしておくことで徐々に気持ちに余裕をもって「行ってきます」を言うようになりました。

■つらかったことを乗り越えた工夫って？

ミスをした時や人に迷惑をかけたときに落ち込みます。慌てていたりするとミスも多くなりがちなので、わからない事はしっかり聞き、色々な確認は自身でのダブルチェックを習慣にできたことでミスを随分減らすことが出来ました。



営業部商品管理課
窪田 裕充さん
(入社19年目)

毎日商品の配送で走り回っている窪田さん。
自分の仕事を接客と言っているところが素敵です！



印刷業界の難解「あるある」をご紹介します！

あるある印刷では、難解な事件(トラブル)が発生している。
今日もまた、天然系工場長のもとに新たな
相談が持ち込まれるのであった…。

あるある印刷の事件簿

事件ファイル11 「ミシン加工」

営業マン：「工場長、大変です！先日納品した複写伝票のミシン加工に不備があり、クレームがきています！」

工場長：「すぐにその納品した伝票を持ってこい！」

営業マンが、急いで仕上がり見本の伝票を持ってきた。

工場長：「ビリビリッ！おや？このミシン加工はなめらかに切り離せないな？」

営業マン：「あれっ？ミシン加工に種類があるのですか？」

工場長：「お客様から指定がない場合は、一般的な細かさのミシン目にするが、場合に応じて、よりなめらかに切りやすい細かいミシン目（マイクロミシン）にすることがあるんだ！」

営業マン：「用途や紙の種類に応じてミシン目の種類も変えないといかないのですね。」

工場長：「今日は徹夜で作業すれば、なんとか間に合うから、みんなで頑張ろう!!」

営業マン：「とほほ・・・(涙)」

こんな
トラブル

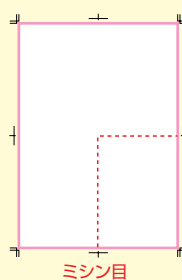
わいんの対策はこれ！

ミシン加工とは、主に伝票やチケット・クーポン券の切取線に行われる加工のことで、印刷後に細かな破線状の切れ目を入れることをいいます。想像しやすいものだと、映画のチケットや、コンビニで発券されたチケットの切り離し線はミシン加工です。ミシン加工をすることで、一部分を切り取りやすくなり、折りやすくなります。ミシン加工するものによっては厳密さを求められるものもあり、金型を作ってミシン加工を行うこともあります。(印刷物に振込用紙が付いている場合などは、金型を使用してミシン目を入れることがあります)

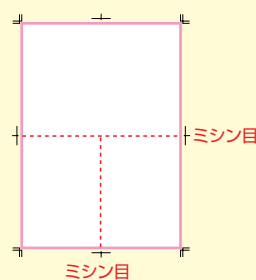
ミシン目の入れ方にも種類があり、チケットのような直線ミシンもあれば、印刷物の用途に応じて十字やL字・T字といった特殊なミシン加工をすることも可能です。わいんでは、熟練のスタッフが、ミシン目の細かさを調整するので、希望がある場合は遠慮せずにお声がけください。

特殊な
ミシン
加工

●L字型



●T字型



走れ、営業マン!!



600段踏破してきました！

椿原健太(営業部:26歳)です！

少し前になりますが、東京へ来てから1年半を経て、ようやく東京タワーに登ってきました。トップデッキも気になりましたが、今回はメインデッキ(150m地点)までの外階段コースを選択。外出が減って弛んだ足腰に喝を入つつ600段を登り切り、認定証をもらいました。家でゴロゴロして牛になってしまわないように、本年も適度な運動を心がけたいと思います。



再び単車乗りに！

出口 昌也(営業部長:54歳)です！

5年ぶりに単車に乗り始めました。15年ほど大型に乗っていましたが、今回はスズキST250という空冷単気筒の小さめの単車です。

中古で購入して色を塗り替えたり、マフラーを交換してカスタム！たいしてスピードは出ませんが単気筒特有の鼓動感が心地よく、田舎道をのんびりトコトコ走っています。



和歌山印刷所ニュースレター・アンケートのコーナー

今回の記事で印象に残った記事などがありましたら下記のチェックボックスにチェックを入れ、感想をご記入の上でFAXを送っていただくとクオカード(500円分)を抽選でプレゼントいたします。(FAX/073-452-2631)

- ☐特集「新年のご挨拶」 ☐わいわいインタビュー ☐あるある印刷の事件簿
☐走れ、営業マン!!

ご意見・ご感想等(御社名/

御氏名/

)

編集後記

「新しい参拝様式」の実践ということで、12月上旬に参拝してきました。人口が多い東京だからということもあるのですが、それでも参拝客はそこそこいて、世間の意識の変化を感じました。分散参拝のために、「幸先詣」だけでなく、来月まで参拝期間を延ばしているところもあるようです。明日どうなるかわからないようなご時世ですが、「人事を尽くして天命を待っているのだ」と胸を張って言えるくらい、頑張ってますので、本年もよろしくお願いいたします。

(編集長：椿原健太)